



『もっと！！本野通信』 No.41

諫早市立本野小学校長 永井 洋

光陰矢の如し

40号でも少しだけ触れていましたが、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、1年の中でも慌ただしく過ぎていくのがこの学期です。日中の時間が短いという事実もあるのですが、とても短く感じるのはなぜでしょうか。

- ① 学校の暦は4月始まりで3月終わりである
- ② 1年間のまとめと合わせて、次の学年の準備も進んでいく
- ③ 最近、3連休が増えている（個人的な感想）

などなど、他にもあるかと思いますが、区切りが近づき、まとめや準備が増えていくことや、節目に関わる式や行事が短いスパンで行われるからだと言われています。「光陰矢の如し」とよく言われます。今年1年、本野小の機関車として活躍した6年生と過ごす時間もあとわずかです。これまでお世話になった6年生に、お礼の気持ちを込めて、今度は1～5年生ががんばる番ですね！！

チャレボ3には先生方の願いや思いも！！

右の写真は、3学期に全校で取り組む「チャレボ3」です。3月の桜の時期に、この希望の木が、子どもたちの夢や希望、挑戦、がんばりの花でいっぱいになることが目に浮かびます。早速、冬休みのがんばりをカードに書いて、教えてくれる子どもたちがたくさんいます。嬉しい限りです。また、今回は先生方からのメッセージが先に貼られています。本野っ子の「ここがすごい！」「ここをもっとがんばって！」「こんな子どもに！」などなど、励ましの言葉が並んでいます。



これは担任の先生に限らず、いろいろな先生が、いろいろな場面で子どもと接して、子どもを見て感じたことです。来校の際には是非ご覧ください。

始業式では、全員が姿勢を正しくして、しっかり話を聞く姿に成長を感じたところです。その中で、きらりと光るチャレンジに出会いました。3学期始業式児童代表の言葉は「6年生」。〇〇さんが発表しました。内容は、「3学期のチャレンジと中学校進学に向けた決意」でした。3、4分の発表でしたが、その間〇〇さんが原稿を見ることはありませんでした。全校児童を見ながら、堂々と発表する姿に「ナイスチャレンジ！！」と心の中でつぶやきました。その後の教務主任の質問に、次のように答えていました。

（教務主任）どのようにして覚えたのですか？

（田崎さん）一文一文何度も繰り返して読んで覚えました。

（教務主任）誰にでもできますか？

（田崎さん）がんばれば、誰にでもできます。がんばりましょう！

おそらく、かなり緊張したでしょうし、不安もたくさんあったのだと思います。しかし、とにかくやってみる、チャレンジする。このことを姿で見せてくれた田崎さんに、大きな拍手が送られました。